

栗駒山の火山活動解説資料（令和5年10月）

仙台管区气象台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図1、図2）

大柳監視カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。展望岩頭監視カメラによる観測では、ゼッタ沢上流及びゆげ山で弱い噴気が認められましたが、昭和湖及びゼッタ沢上流周辺で地熱域は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図3）

火山性地震は少ない状態で経過し、火山性微動は観測されませんでした。

なお、栗駒山周辺では、「平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震」の余震域内で地震活動が続いています。

・地殻変動の状況（図4、図6）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。



図1 栗駒山 山頂周辺の状況（10月24日）

・大柳監視カメラ（山頂の南東約20km）の映像です。

噴気は認められませんでした。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページで閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

次回の火山活動解説資料（令和5年11月分）は令和5年12月8日に発表する予定です。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています。

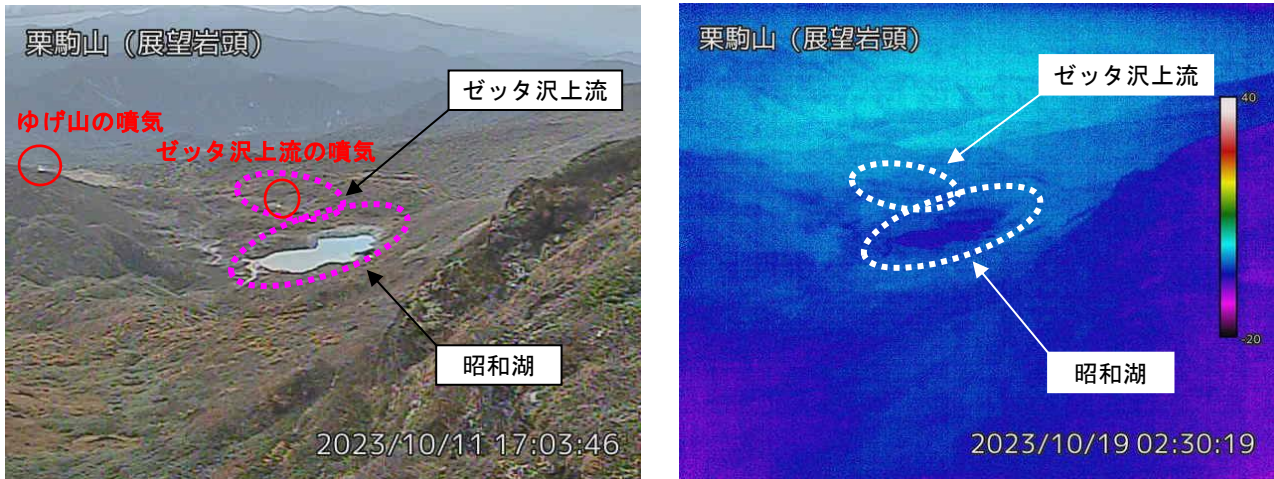


図2 栗駒山 昭和湖及びゼッタ沢上流周辺の状況（10月11日）と地表面温度分布（10月19日）
・展望岩頭監視カメラ（昭和湖の南南西約900m）の映像です。

ゼッタ沢上流及びゆげ山で弱い噴気が認められました。地熱域は認められませんでした。

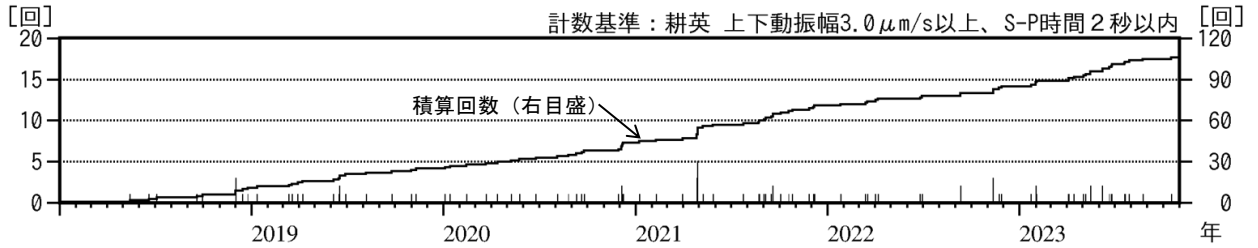


図3 栗駒山 日別地震回数（2018年1月～2023年10月）

火山性地震は少ない状態で経過し、火山性微動は観測されませんでした。

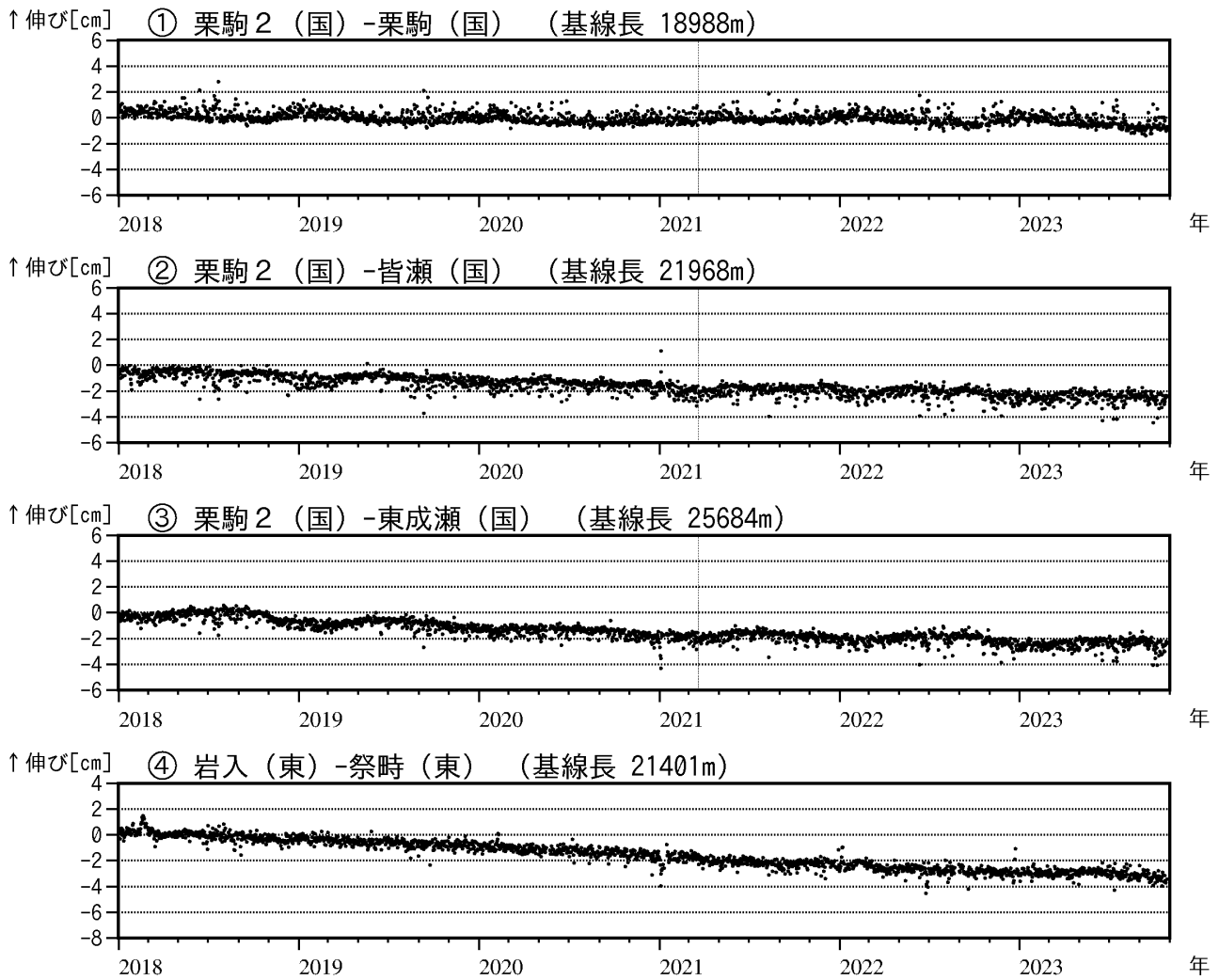


図4 栗駒山 GNSS 基線長変化図（2018年1月～2023年10月）

- ・2021年3月20日の宮城県沖の地震に伴うステップを補正しています。
- ・①～④は図6のGNSS基線①～④に対応しています。
- ・空白部分は欠測を示します。
- ・(国)は国土地理院、(東)は東北大学の観測点を示します。

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

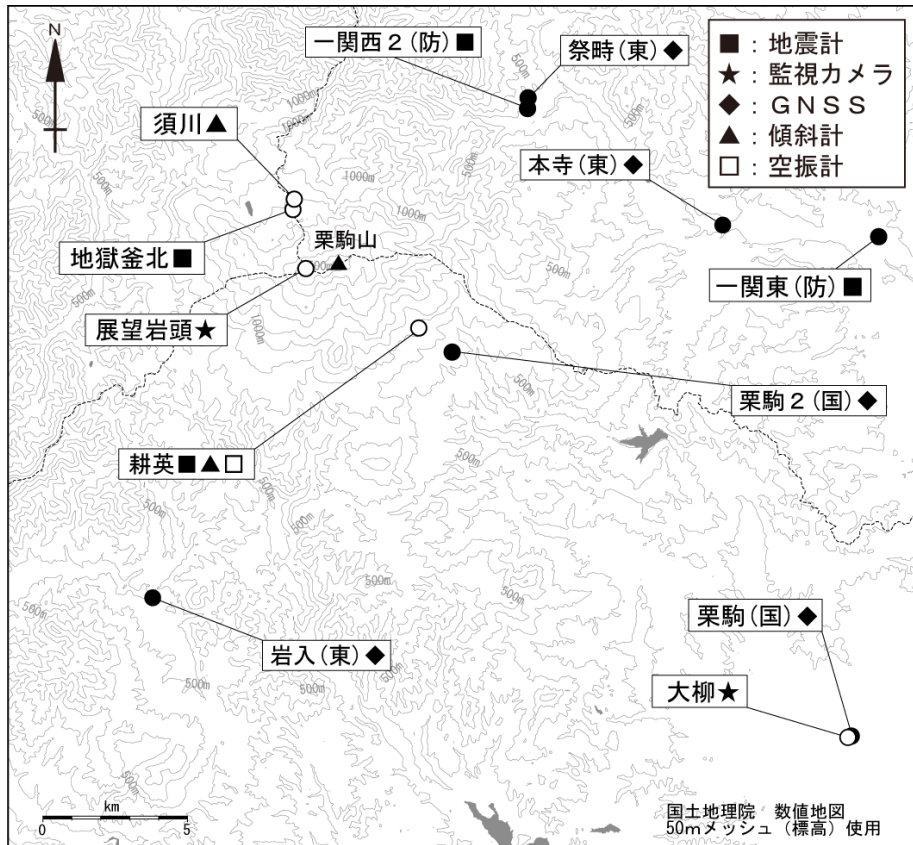


図5 栗駒山 観測点配置図

白丸(○)は気象庁、黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(国)：国土地理院 (東)：東北大学 (防)：防災科学技術研究所

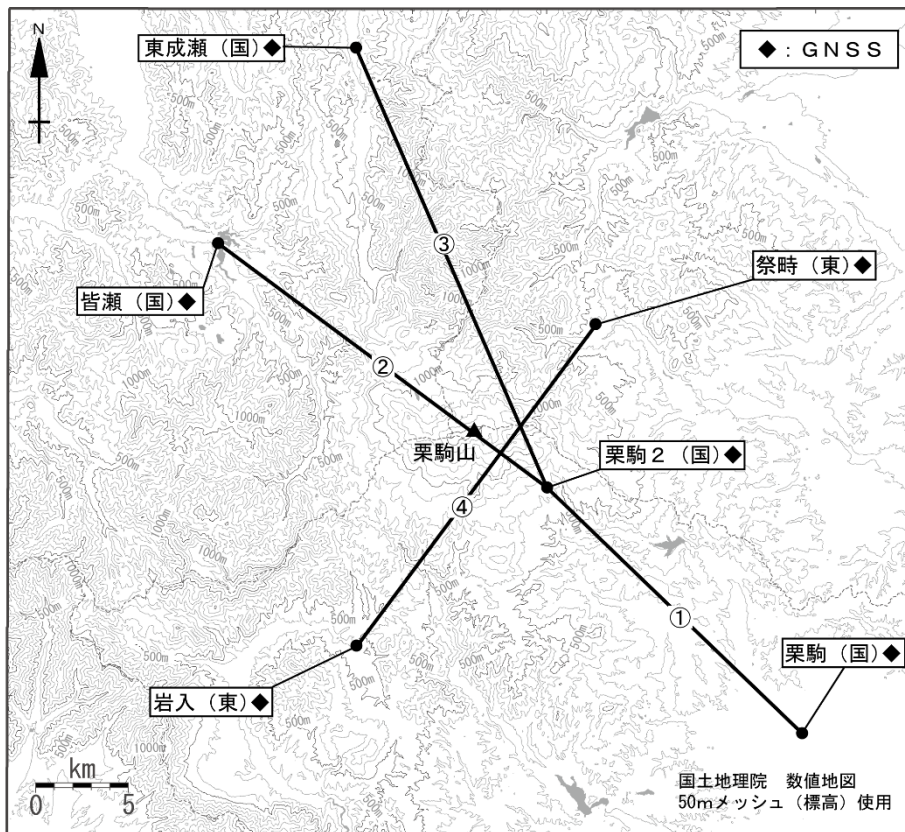


図6 栗駒山 GNSS 観測基線図

黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(国)：国土地理院 (東)：東北大学